

報告交流会開催要項(案)

1 開催趣旨

第2期橋本市の自治と協働をはぐくむ委員会（令和3年7月～令和5年3月）は、2年間にわたる取り組みの成果と課題等を、同条例第17条に基づき市長に対して提言書を取りまとめた。

第1期は市長に提言書を手渡し、その後、委員会と懇談を行った。

今回の第2期においては報告交流会を実施する。その目的は以下の3つである。

- ① 委員会の2年間の研究の成果を市民等に広く公開する場を設ける
- ② 交流の機会が少ないサポーター、市民、職員との情報交換の場を設ける
- ③ 参加者が協働のまちづくりに取り組むための基礎となるような場の形成を図る

2 概要

- (1) 報告交流会の名称とテーマについては【未来に向けて！ 自分ができること、みんなのできること】～市民と行政の協働で元気な橋本市へ！～ とする。
- (2) 市長への提言書の提出を、報告交流会の冒頭にて実施する。
- (3) 提言書の内容を、はぐくむ委員会から市民と職員等の参加者に報告・説明する。
- (4) 参加対象は、はぐくむ委員と同サポーター及び市職員（地域担当職員）等の60名とする。会場定員の範囲において、市民等の自由参加をお願いする。(2)の実施後、グループワークを行い、グループごとに成果を発表する。
- (5) 以上を通して、同条例施行以降の現在地を広く情報公開し、市民と職員等の自治と協働のまちづくりへの今後の具体化と実質化、および第3期はぐくむ委員会の役割と活性化をめざす。

3 日時

令和5年3月19日（日） 13時30分から16時00分

4 場所

橋本市教育文化会館3階第1研修室（定員99名）

5 次第（時間は予定）

開会挨拶（企画の趣旨説明）	田村	13：30～	5分
提言書の提出	市長、 正副委員長	13：35～	10分
第2期はぐくむ委員会からの報告 情報共有G	森田	13：45～	35分

市民参画 G	戸島		
協働のまちづくり G	東		
まとめ	委員長		
交流会	説明者 ()		
ワークショップ		14:20~	65分
発表 (8グループ×2分)		15:25~	20分
講評	委員長	15:45~	10分
閉会挨拶 (報告及びお礼)	乾副委員長	15:55~	5分
閉会		16:00	

6 提言書の提出

- ・ 副委員長から市長に提出する
(渡す前に委員長からひとこと、副委員長から市長に手渡していただく)
- ・ 渡し終えた後、市長からひとこといただく

7 報告

- ・ 報告時間は各グループ5分程度
- ・ 柔らかい雰囲気での発表を心がける
- ・ パワーポイントのスライドは8枚以内
- ・ 例えば、1枚目はグループ(メンバー)紹介(グループ写真などあれば良いかも)、2枚目以降は提言書のグループ記載箇所に基づいて作成
- ・ スライドのデザインは3グループで統一しても、しなくても良い。グループ間で相談。
- ・ スライドは文字ばかりにならないよう、図表や写真を入れる
- ・ スライドは印刷し、当日参加者に配布する。

8 交流会

- ・ 『①第2期の取り組みで1番良かったこと(2つ)』、『②第3期に向けて最重点で取り組むべきこと(2つ)』をテーマにグループワークを行う。
- ・ 1グループ7、8人の6~8グループ程度で実施予定。
- ・ 自己紹介の後、ファシリテーターと発表者を決める。
- ・ グループワーク65分、発表20分を目安にする。
- ・ 発表後は講評を堀内委員長から行っていただく。

9 役割担当、その他

- ・ 司会は佐藤委員

- ・ 受付は玉井委員、平田委員
- ・ 動画のHP掲載は秘書広報課と相談の上、検討する。
- ・ 令和5年5月の広報に報告記事掲載。作成は情報共有グループ。原稿〆切は3月22日予定。
- ・ 会場設営（机の配置等の検討の必要有）
- ・ 集合時間 12時30分

10 準備物

全体

横幕、はぐくむの木、まなびの日展示物、マイク設備、

報告会

PC、プロジェクター

交流会

マーカー、付箋、模造紙（ホワイトボード）、新聞紙